

日本経営士協会 入会・資格取得案内

第3版 平成27年11月1日

この度は、「特定非営利活動法人 日本経営士協会」にご興味を持ってくださりありがとうございます。当協会が認定する「経営士」・「経営士補」という資格は、日本で最も歴史の長い経営コンサルタント資格と言えます。

1. 入会申込方法

当協会に入会申込をされますと、入会審査が行われます。入会が認められた方につきましては、通常は一般会員として経営士協会の活動に参画され、研修会・講習会を受講して、資格会員（経営士補・経営士）昇格に必要な単位を取得して頂き、昇格審査を受けて晴れて資格会員（経営士補・経営士）と称号が付与されます。

また、入会審査の段階でご経歴や実務指導経験等を勘案して、資格会員として相応しいと判断された方については、その後資格審査が実施されます。そして、資格審査に合格します、経営士補・経営士の資格を取得することができます。

入会申込書はダウンロードサイトから入手することができます。入会申込書の記載方法・必要書類及び郵送先・送付先については、入会申込書に添付いたします「入会手続き」を参照して下さい。入会申込書に記載されている「入会希望される会員種」・「コンサルティングに関する知識または企業経営に関するご経験の有無」及び「取得されている国家資格ないしはそれに準じる資格」欄は、資格審査の際の参考にさせていただきますので、記載されることをお勧めします。

2. 入会審査について

当協会の入会審査は以下のように行っています。入会申込書に記載された内容ならびに入会申込書と一緒に提出して頂く「身分証明書」などを参照にして、申込された方が当協会の会員として相応しいかどうかを、入会審査委員会にて審査致します。入会を認められた方はその後、以下に示す資格審査を受けて頂きます。

3. 入会時資格審査について

資格取得は、入会時審査や入会後に審査を受けることもできます。

当協会の資格審査は以下のように行っています。入会申込書に記載された「入会希望される会員種」・「これまでのご経験及び取得されている国家資格」などを参照にして、当協会の

審査委員会にて、一般会員ないしは資格会員（経営士・経営士補）のどちらかが申込された方に相応しいかどうかを審査いたします。

資格会員が相応しいと判断された方については、一次審査（書類選考）、二次審査（論文審査）、三次審査（口頭試問）を経て、経営士ないしは経営士補の資格を付与いたします。審査基準の目安は概ね以下のようになっています。

（１） 一般会員（正会員）

当協会の目的に賛同して入会し、その活動を推進する資格会員を除いた正会員を指します。

- ・ 将来コンサルタント業に就業したい方
- ・ コンサルタント的発想・手法を用いて、高度な経営管理や社内コンサルタントを目指す方
- ・ 国家資格等を有しており、経営士や経営士補の資格を取得しないが、当協会の理念に賛同され共に活動することを希望する方

（２） 資格会員（正会員）

当協会の目的に賛同して入会し、その活動を推進する個人で、経営士及び経営士補として認定された会員を指します。経営士は、その実力や経験等により、別途定める基準に基づき A、B、C の 3 つのクラスに分類されます。

退会または会費未納者は、会員であることはもとより資格を名乗ることができません。

１） 経営士

経営士の称号は、内閣府認証 特定非営利活動法人日本経営士協会が認証する経営コンサルタントの資格で、60年以上の歴史を有する経営コンサルタント資格です。主に以下に示す方々が経営士としての資格付与の対象となります。

- ・ 経営コンサルタントを業として概ね5年以上になる方
- ・ 公認会計士・税理士・中小企業診断士、社会保険労務士などの資格を有し、かつ5年以上の経営コンサルティング業務で実績のある方
- ・ 経営関係の大学院を修了または MBA 取得者で、経営企画室や経営コンサルタント的思考業務に永年携わっている方あるいはそれに準ずる業務経験が3年以上の方
- ・ 企業の経営者ならびに諸法人の役員を永年勤められ、経営陣としてご活躍されている方
- ・ 当協会「入会審査委員会」が、上記項目に相当すると認めた方

２） 経営士補

経営士補は、経営士の業務を補佐するなど補助的な業務をしながら、コンサルタントとしての実力を高めていきたいという方、一般企業の経営者・管理者で、コンサルタント的的思考で質の高い経営管理を行いたい方などに付与する資格です。

以下に示す方々が経営士補としての資格付与の対象となります。

- ・経営コンサルティングを業とする方
- ・公認会計士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士・司法書士・弁護士・弁理士・技術士・ISO 審査員・ファイナナシャルプランナー等など、企業経営に関する資格を有する方

- ・経営関連の学部の大学卒業生または大学院在学・卒業された方
- ・企業内で企画部門や社内コンサルタント業務に従事している方
- ・独自の経営実践手法を用い自社（店）を成長に導く努力をしている経営者
- ・企業を含む諸法人の役員や監査を行う立場にある方
- ・中小企業診断士の受検経験のある方
- ・当協会「入会審査委員会」が、上記項目に相当すると認めた方

【注】上記要件を満たしていても、入会・資格取得が約束されているわけではありません。

(3) 研究会員（準正会員）

- ・現在大学ないしは大学院に在籍中の学生の方を対象としております。
- ・一般会員及び資格会員として登録しない会員で NPO 法の社員としての資格はありませんが、その他のサービスは原則として他の会員種と同等の扱いとなります。

4. 入会後の資格取得について

入会申込時の資格審査で一般会員が相応しいと判断された方々も、一般会員として入会后、以下の資格取得手順を経ることにより、資格会員（経営士ないしは経営士補）に昇格することができます。

(1) 受験による資格取得

【開催】：例年春に資格取得案内が広報されるので、それに基づき受験申込をします。
詳細はお問い合わせください。

【科目】：科目を以下に示しますが、論文形式が多く、難易度は高くなっています。
①経営管理、②財務会計、③人事労務総務、④営業・マーケティング基礎、
⑤製造・開発・資材、⑥経営情報、⑦経営法務、⑧コンサルティング技術

【書類】：「受験による資格取得申込書」および所定の書類

(2) 受講による資格取得

当協会指定の講座を受講し、所定のレベルに達すると、書類審査・面接を経て、経営士補の資格取得ができます。その後、所定の単位を取得する事により、経営士へと昇格することができます。

(3) 推薦制度による昇格・資格取得

一般会員として入会されて、当協会でコンサルティングとしての研鑽を積まれた方ないしは一般会員として在籍されている間に、国家資格やそれに準ずる資格を取得された方を対象にした昇格・資格取得方法です。「推薦制度」を利用した取得法があり、書類審査・論文・面接を経て、科目試験免除で経営士補資格取得ができます。経営コンサルタント実績等があり、とりわけ評価の高い実績を有する方は、経営士（Cクラス）^注の資格を取得できることがあります。

推薦制度の詳細については、本部事務局にお尋ねください。

【申請】：6月と12月の年2回実施

【書類】：「推薦申請書」および所定の書類

注記：当協会「経営士」には「A」「B」「C」の3クラスがあります。入会時に付与される資格は経営士Cクラスとなります。その後、昇格試験を受けてC⇒B⇒Aクラスへとランクアップします。

5. 入会金・会費について

入会時の会員種によって、入会金・会費が異なります。下記の表を参照して下さい。

会員種	区分	入会金	登録料	年会費 ^{注1}	審査料	入会時支払い金額 ^{注2}
資格会員	経営士	120,000	10,000	48,000	10,000	188,000
	経営士補	40,000	10,000	36,000	—	86,000
一般会員		20,000	—	24,000	—	44,000
研究会員		20,000		12,000		32,000

注記：1及び2：入会時支払い金額は、支払い金額の上限を示しています。

3：一般会員から経営士補へ、また経営士補から経営士への昇格の場合には、入会金差額と登録・審査料が別途必要になります。

5. 審査結果の連絡とその後の手続きについて

(1) 審査結果の連絡

入会申込書を当協会ですり受ると、所定の手順に基づき審査が行われます。入会の可否及び資格取得については、当協会より直接、申込者に対して連絡がなされます。

- (2) その後の手続き入会承認の通知とともに日本経営士協会が定める指定口座への入金等の送金依頼伝票がお手元に届けられます。指定口座への振込みを速やかに行ってください。入金が確認されますと当協会より認定書・会員証などが送付されます。不合格の場合でも、当協会より申込者に通知があります。

5. 入会後の研修と活動

入会手続き完了後、当協会が開催する所定の研修を受講して頂きます。専門分野により一部の科目が受講免除になります。詳細は研修会申込時にご確認ください。

研修会・セミナーの開催状況については、下記当協会のホームページにて閲覧できます。

<http://www.jmca.or.jp/httpdocs/seminar/301/>

また研修会・セミナーの開催情報については、上記サイト以外に当協会のメールマガジン、会報などにより逐次お知らせいたしますので、お見逃しのないようお願いします。

当協会は、様々な職種・専門家の会員の方々により構成されています。研修会などに参加され専門知識に磨きをかけることも大切ですが、主な入会のメリットとして、

- ・ 経験豊かな経営士が相談員となり、2年間質問等を行うことができます。
- ・ 協会主催の各種研究会・研修会・セミナー・講演会などへの会費優遇があります。
- ・ 研究会での研究発表、会報・メールマガジンへの論文投稿やセミナー講師を勤めることが可能となります。
- ・ メーリングリストに参加し、意見・情報の交換ができます。
- ・ メールマガジンの無料購読ができ、質の高い貴重な情報を入手できます。
- ・ 同志が集まり、研究会や異業種交流会を開催できます。

等など特典が沢山あります。これらメリットをご活用するとともに協会活動に積極的に参加して下さる様お願いします。

一般会員として入会された方でも、昇格試験を受けることにより、経営士補・経営士というように上位の資格に挑戦することもできます。昇格要件になっている研修会・講習会に出席することにより、実力を高めながら、上位の資格取得の要件を整えていくことも大切です。チャレンジ精神を持って、経営コンサルタントとしての力を養っていきましょう。

以上